

まちの話だい

2月28日 | 子どもの幸せを願って

2020 年中に市内で誕生した新生児 626 人を対象に、市の花であるバラの苗木が贈られました。

この事業は、緑を大切にする市民の心を育むとともに、子どもたちの健やかな成長を願い、市が毎年実施しています。配布会場のばらの丘公園には、大輪から小輪までさまざまな種類のバラの苗木を用意。訪れた家族は、赤ちゃんに「すくすくと育ってね」と言葉を掛けながら、苗木を選んでいました。



3月1日 | 門出に誓う看護への決意

市立看護専門学校で卒業式が行われ、41 人の生徒が新たに看護の道へ巣立ちました。卒業生のうち 29 人が、市立島田市民病院への就職を内定しています。

卒業生代表の宮本^{みやもと}さんは「これから多数の患者さんを受け持ち看護していくことになるが、実習での日々を忘れず、真摯^{しんしん}に患者さんと向き合っていきたい」とのべ、看護師としての決意を新たにしました。

トピックス

中学生が地域の魅力などを発信



六合中学校 1 年生が総合学習の一環で、六合地区に関する歴史・文化・産業などをまとめたパンフレットを作成しました。市広報課では、同中学校からの依頼で、グループまたは個人で完成させた 83 点を選考。優秀な 3 点を表彰しました。

- ◎第 1 位 陰地咲奈^{おんじさな}さん「六合で遊ぼう!」
- ◎第 2 位 鈴木理葵^{すずきりお}さん・江村侑花^{えむらゆうか}さん・中井瑠奈美^{なかいるなみ}さん
「子育て中のお母さんへ 六合の魅力伝えます!」
- ◎第 3 位 村松花保^{むらまつかほ}さん・森舞羽^{もりまいは}さん「家族で楽しむ!! 六合の町」





2月24日 | 春の訪れを感じる帯桜^{おびざくら}

市役所駐車場東側の「帯桜」が見頃を迎え、家族連れなど多くの人の目を楽しませました。

この桜は、全国でも島田市にしかない希少品種。比較的開花時期が早く、気温によって花びらが開閉することから、花持ちが良いのが特徴です。1978年に、旧島田市の市政30周年を記念して植樹されました。この日は、こばと保育園の園児が訪れ、一足早い春を満喫しました。

2月24日 | 河原に巨大な盃が出現

大井川鐵道の無人駅とその周辺集落を舞台に、3月5日から開催される「UNMANNED 無人駅の芸術祭」^{アソシエーション}。抜里駅近くの河川敷には、小山真徳^{こやま まさよし}さんの作品「盃と沢蟹」^{さかずき さわがに}の一部が姿を表しました。

この日の作業では、100本以上の竹で編み上げた直径約10m・重量約1tの皿部を高台の上に設置。30人を超える地元住民が額に汗して、巨大オブジェの制作に協力しました。



2月12日 | スマートフォンを体験

市は、自治会・町内会役員向けに、スマートフォン・ZOOM^{ズーム}の体験講座を開催。当日は、10人が参加し、ソフトバンクのアドバイザーからアプリなどの基本的な操作方法を学びました。

市では、今後も同様のコミュニケーションツールを活用した、効率的な自治会運営を支援するため、デジタル活用支援員による講座や、情報通信技術の活用に係る経費補助などを行います。